

- ・各欄の大きさは適宜変更してもよいが、全体で3ページを超えることはできない。
- ・全体の字数は3,600～4,500字程度
- ・図、表を挿入した場合はキャプションを付す
- ・提出に当たっては、内容を十分に指導教員に確認してもらうこと。

成果の要旨記入例

様式（2a）学修総まとめ科目 成果の要旨（※3頁以内）

学校名	香川高等専門学校	専攻名	電子情報通信工学専攻
専攻分野名称	工学	専攻の区分	電気電子工学または情報工学
氏名		学籍番号	25599 (aは不要)
テーマ名	指導教員の個表の課題名を踏まえたテーマ名		
指導教員名	すべての教員名 主教員に丸印	指導補助教員名	すべての指導補助教員名

(1) 「学修総まとめ科目」で取り組んだ学修・探究の内容

(1-1) 学修・探究の背景と目的

- 以下の記載内容を十分に確認し、成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

この学修・探究で取り組んだテーマの背景について記述してください。当該テーマに関する文献や資料等（既往の研究や先行研究など）を引用しつつ概略を説明してください。引用した文献や資料は出現順に文献番号を振り、「参考文献」にまとめて文献番号とともに記載して、その出典を必ず明示してください。なお(1-2)～(1-3)においても連続した文献番号を振り、同様に記載してください。

次に、この学修・探究で取り組んだテーマの目的と意義を具体的に記述してください。複数の者が共同して同一又はほぼ同一のテーマの学修・探究を進めた場合には、その理由と自身の担当について自身の言葉で具体的に記述してください。

(1-2) 学修・探究の手法・方法

- 以下の記載内容を十分に確認し、成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

この学修・探究で用いた手法・手段を具体的に記述してください。実験を行った場合は用いた実験装置の主な仕様を記し、測定方法、実験条件、用いた試料、データ解析の方法などを説明してください。シミュレーションや数値計算を行った場合は用いたソフトウェアの概略を記し、計算方法、計算条件、解析方法、用いたアルゴリズムなどを説明してください。調査研究の場合には調査の方法、対象などを具体的に説明してください。

倫理的配慮

- 以下の記載内容を十分に確認し、成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

調査や実験を行う上で必要な倫理的配慮（補足資料^[1]「履修計画書と成果の要旨等を作成する際に留意すべき倫理的配慮」参照）について、その内容を具体的に明記するとともに、実施にあたって学内外の倫理審査委員会等に申請した場合には、その承認状況等について記載してください。該当がない場合にはその旨（「該当なし」など）を記載してください。

(1-3) 得られた結果と考察, 将来展望

- 以下の記載内容を十分に確認し, 成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

得られた結果の概要を説明し, その結果に対する考察を行い, これらに基づいて学修・探究の結論をまとめてください。また, この学修・探究では解決できなかった事項があればそれに対する解決策を考察してください。学修総まとめ科目で取り組んだテーマに関する将来展望についても記述してください。

履修計画書から変更があった場合の理由および履修計画書に対する評価・コメントへの対応

- 以下の記載内容を十分に確認し, 成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

「学修総まとめ科目履修計画書」に記載した計画・内容から大幅な変更があった場合には, その理由, 解決策等を記載してください。また, 学修・探究の進捗に応じて「学修総まとめ科目履修計画書」に記載したテーマ名に修正が生じた場合は, 修正した旨とその理由を記述してください。履修計画書を再提出した場合やコメントが付された場合には, その対応についても記載してください。

参考文献

- 以下の記載内容を十分に確認し, 成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

(1-1)～(1-3)で引用した文献について, 出現順に番号を付してまとめて記載してください。

[1] 『学位規則第6条第1項に規定する学士の学位の授与の特例に係る学位授与申請案内(令和7年度版)』(独)大学改革支援・学位授与機構(令和6年10月), p. 48
https://www.niad.ac.jp/n_gakui/media-download/8192/c8317ffa27f00332/

(2) 「学修総まとめ科目」の学修・探究を支える学修全体について

(2-1) テーマの学修・探究の基盤となる専門科目の学修

- 以下の記載内容を十分に確認し, 成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

4年間(短期大学または高等専門学校)の学修を振り返り, 履修した「専門的な内容の授業科目」(専門科目)の概要と身につけた力について具体的に記述し, 「学修総まとめ科目」で取り組んだテーマと, 「専門科目」の学修との関連を説明してください。特にテーマの学修・探究を進める上で基礎となった専門科目, あるいは関係の深い専門科目については, 具体的な授業科目名も記載してください。

(2-2) テーマの学修・探究に係る関連科目の学修

- 以下の記載内容を十分に確認し、成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

履修した「専門に関連する授業科目」（関連科目）の全体の概要と身につけた力について記述し、それらの授業科目で学んだ内容と当該テーマとの関連を説明してください。特にテーマの学修・探究と関係の深い関連科目については、具体的な授業科目名も記載してください。

(2-3) 専攻に係る科目以外の学修

- 以下の記載内容を十分に確認し、成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

専攻に係る科目以外でどのような授業科目を履修したか概要を述べ、特に興味を持った授業科目、および有益であったと考える授業科目について、具体的な授業科目名を記載して内容の概略を説明してください。

(2-4) 自分自身の4年間の学修全体の省察

- 以下の記載内容を十分に確認し、成果の要旨の作成時にはこのテキストボックスごと削除してから記載すること。

これまでの4年間の学修を通じて、どのような知識を学んだか、またどのような能力が得られたかを説明してください。